

江戸時代の浮世絵師は、遊びの天才!



江戸時代は、町人文化が大きく花開いた時代です。中でも江戸当世の風俗画である浮世絵は、演劇や風俗、風景など実に多種多様な題材で世相を映し出しており、流行や好みを反映した娯楽や情報源となりました。広く庶民に伝わった浮世絵は、手に入りやすい文化として、生活の中にとけこんでいったのです。

この展覧会では、江戸の絵師や版元が工夫をこらして手がけ、機知に富んだ「遊び絵」の世界を、謎解き、隠し絵、文字絵、身振絵、影絵など、7つの章で紹介いたします。浮世絵の美に江戸の洒落が加わり、好奇心と想像力が刺激される遊び絵を、ご家族皆様さんでお楽しみください。さあて、江戸を沸かしたユーモアを、とくとご覧にいれましょう!



あら、驚き!何人もいるぞ!

頭は5人ですが、視点をずらすと...10人もいるじゃありませんか。浮世絵師の創意工夫で誕生した「五頭十体図」です。

歌川貞景「五子十重図」(部分)



おもしろ浮世絵、ここに参上!

新しい娯楽を求める庶民の要望に応えるユニークな遊び絵が次々と生まれました。笑って遊べる浮世絵をご覧ください!

歌川広重「狂戯まづくり」(部分)

よく見れば、たくさんの人、人、人!

たくさんの人や物を寄せ集めて、人物や鳥獣などを形作る「寄せ絵」。ユーモアと機知に富んだ遊び絵の代表作です。

歌川国芳「みかけハご八るがとんだい>人だ」(部分)

関連行事

●講演会「浮世絵にみる江戸の笑い一戯画」

講師:稲垣進一氏(本展覧会監修者・国際浮世絵学会常任理事)

日時:4月14日(土)14時~

会場:映像ホール ※聴講無料・申込不要です

●作品解説会

日時:4月21日(土)・5月5日(土・祝) 両日とも14時~

※いずれも会場は展示室 ※要企画展観覧券

●浮世絵木版画制作実演 実演:東京 高橋工房

日時:4月28日(土)・29日(日・祝) 両日とも10時~12時/13時~16時

会場:エントランスホール ※見学無料・申込不要です

観覧料

【当日】一般=700(550)円 大学生=350円

【前売】一般のみ=550円 ※前売券の販売は4月5日(木)までです。

※()内は20人以上の団体料金です。※この料金で常設展も観覧できます。

※大学生の団体料金は、美術館にお問合せください。

※小・中・高校生及びこれらに準ずる方、18歳以下の方、各種手帳をお持ちの障害者の方は観覧無料です。

【前売券取扱所】富山県水墨美術館、富山県美術館、富山新聞社営業事業部、アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)

5月9日(水)は「県民ふるさとの日」 ※無料開放については美術館にお問合せください。

開館時間 午前9時30分~午後6時(入室は午後5時30分まで)

会期中の休館日 月曜日(ただし、4月30日は開館)

常設展示 近代水墨画の系譜/下保昭作品室

館内施設 ●茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子500円) ●カフェ北斗

●ミュージアムショップ「風花」*展示室以外はフリースペース(入場無料)です。

次回予告 名都美術館名品展 2018年5月25日(金)~7月8日(日)

富山県水墨美術館 〒930-0887 富山市五福777番地 TEL:076-431-3719 FAX:076-431-3720
http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm 水墨美術館 検索

江戸の遊び絵クイズ

日本で最初の影絵クイズかモ?



問題1:影絵(かげえ)

「影」を題材にしたさまざまな趣向の浮世絵があります。さて、これらは何の影でしょう?

12種類の干支がせよと隠れしるゝ



問題2:寄せ絵(よせえ)

こちらは、干支を全部合わせてできた「寄せ絵」の珍獣ですが、どこに何がいるかわかりますか?

